

## 図書館学習室に予約制を

日本共産党  
松岡 光子



高倉理事 苦情多くなれば検討も

**問** 図書館学習室利用者数は自習室としての利用ニーズも含み増加している。8月に行われた中学生議会でも意見があった。図書館が実施したアンケートにある、席の個別化、机の間隔を広くとの要望を実施すれば座席数が減る問題が出る。解決のため利用時間を区分し、ネット予約システムを導入する考えは。



▲学習室の受付窓口

**答** 席の個別化、机の間隔を広くという意見は各1名と少数であり、時間制限がなく自由に利用できる。今年度は池田小学校で開催。播磨南高校では、昨年引き続き交通安全教育を実施予定。本年はスクエアドストリート方式という、スタントマンと自動車を使った疑似交通事故の見学により、通ルールを守ることの大切さを体感する内容で行う。

**問** 交通安全教育の取り組みは、約70%を占める大人世代への取り組みは。

**答** 高齢者への交通安全教室や啓発などの積み重ねが重要と考える。そのため、地域でのわくわく講座を利用した交通安全教育の実施を促進する。

**問** 自転車の活用を考えた道路整備の考え方は。

**答** 本町の特性を活かし、自然に親しみながら健康づくりに役立つ、歩行者や自転車のネットワーク形成を図りたい。

**その他の質問**  
▼感震ブレイカーの普及や啓発を

### 介護サービスの継続を

福田 多様なサービス活用

**問** 平成29年4月から要支援1・2の方のホームヘルプサービスとデイサービスが、全国一律の介護保険から町独自の総合事業に代わるが、現在何名が利用しているのか。

**答** 利用者は、ホームヘルプサービスで137名、デイサービスは153名。総合事業は平成29年4月からの実施に向け準備中。

**問** 現行サービス中心型で実施していくのか。

**答** 総合事業の実施を目指し、必要なサービスを提供するが、総合事業には上限額があり、超える分は町が負担することになる。既存の介護事業所によるサービスに加えて、多様な主体を活用したサービスを検討していく。

## 自転車の交通安全対策は

政風会  
岡田 千賀子



赤田理事 啓発などの積み重ねが重要

**問** 平成27年の町内における交通人身事故件数186件のうち、自転車関係事故は64件発生している。年齢などによる例外もあるが、道路交通法では自転車は車道の路側帯を通行することが義務づけられている。

**答** 自転車の安全な乗り方などを啓発する町の取り組みは。

**問** ヘルメットの着用を幼稚園や保育園の交通安全教室で保護者に呼びかけ、学校でも指導している交通安全教室のつ



▲自転車マナーを守ろうね

どいを、本年は池田小学校で開催。播磨南高校では、昨年引き続き交通安全教育を実施予定。本年はスクエアドストリート方式という、スタントマンと自動車を使った疑似交通事故の見学により、通ルールを守ることの大切さを体感する内容で行う。

**問** 交通安全教育の取り組みは、約70%を占める大人世代への取り組みは。

**答** 高齢者への交通安全教室や啓発などの積み重ねが重要と考える。そのため、地域でのわくわく講座を利用した交通安全教育の実施を促進する。

**問** 自転車の活用を考えた道路整備の考え方は。

**答** 本町の特性を活かし、自然に親しみながら健康づくりに役立つ、歩行者や自転車のネットワーク形成を図りたい。

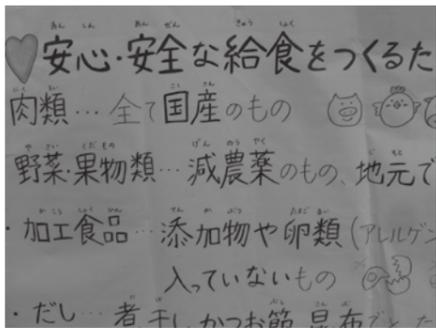
**その他の質問**  
▼感震ブレイカーの普及や啓発を

## 美味しい給食を子どもたちに

日本共産党  
田中 久子



町長 方向性も含め検討したい



▲おいしい給食の条件です(播磨町給食展)

**問** 本町の給食はおいしいと評判、今後も自校方式を続けるべきでは。

**答** 給食施設検討調査を実施しており、今後は方向性も含め検討したい。

**問** 調理室の建て替え計画は何年度か。

**答** 給食施設検討調査報告を踏まえ検討する。

**問** 新施設に※ドライ方式を検討する考えは。

**答** 学校給食衛生管理基準に基づきドライ方式を導入したい。

**問** 国保税の負担軽減を

**福田 町独自の軽減は**

**理事 困難**

**問** 保険者支援金は本町にいくら入ったのか。

**答** 平成27年度、国と県合わせて5326万円が支援金として一般会計に計上されている。

**問** 支援金は国保税に充当されたのか。

**答** 一般会計から、町の負担も含めて特別会計に7102万円が計上され、国保財政に充当されている。

**問** 国保税納付相談の窓口はワンストップサービスを行う考えは。

**答** 税務と保険年金グループで相談している。納付計画の相談が必要な方に、税務グループ窓口で対応している。

**問** 町独自で国保税軽減措置を実施すべきでは。

**答** 基金を取り崩し税率を据え置いている。均等割や平等割も税法に基づき減額している。これ以上の町独自の負担軽減は困難と考える。

## 平成27年度政務活動費の決算報告

政務活動費は、同じような考えを持つ議員たちで構成する会派に対し、半期ごとに所属議員1人当たり月額1万円が交付され、その使途は行政に関する調査研究費、講演会参加などの研修費、会議費、そして書籍購入などの資料購入費に限っています。収支報告書への領収書の添付も義務付けられています。平成27年度は166万円交付し、59万7306円の返還がありました。

### 《《《 会派別の使途など 》》》

(単位:円)

区分	会派	議員名	交付額 (収入額)	支出額				返還額	主な支出内容	
				調査研究費	研修費	会議費	資料購入費			
議員改選前	公明党	◎木村晴恵、宮尾尚子	10,000	0	0	0	0	10,000		
	新政会	◎河野照代、神吉史久、奥田俊則、福原隆泰、藤田博、松下嘉城	50,000	0	0	0	0	50,000		
	青雲21	◎藤原秀策、岡田千賀子、宮宅良	30,000	0	0	0	20,552	20,552	書籍購入	
	日本共産党	◎田中久子、松岡光子	20,000	0	0	0	7,835	7,835	書籍購入	
無所属	◎山本雅之	10,000	0	0	0	752	752	9,248	書籍購入	
議員改選後	公明党	◎木村晴恵、大瀧金三	220,000	0	180,126	0	12,724	192,850	27,150	研修会参加(11、1月) 書籍購入
	新政会	◎奥田俊則、神吉史久、河野照代、藤田博、松下嘉城	550,000	230,650	0	0	40,600	271,250	278,750	先進地調査(1月) 書籍購入
	政風会	◎岡田千賀子、藤原秀策、宮宅良	330,000	0	90,026	0	127,531	217,557	112,443	研修会参加(7、8、10、11、1月) 書籍購入
	日本共産党	◎松岡光子、田中久子	220,000	0	103,760	0	59,235	162,995	57,005	研修会参加(2月) 書籍購入
	無所属	◎小原健一	110,000	0	79,632	0	14,133	93,765	16,235	研修会参加(10、2月) 書籍購入
	無所属	◎山本雅之	110,000	0	75,142	0	19,996	95,138	14,862	研修会参加(7、1月) 書籍購入

◎=代表者 ※平成27年度中の議員(代表者を含む)表記しています。※無所属議員も交付対象です。

※ドライ方式とは、雑菌の繁殖を防ぐため、調理場を乾燥した状態に保つこと